

第2回 川上村高齢者等施設建設委員会 議事録

日時：令和7年12月19日（金）15:00～

場所：ヘルシーパークかわかみ中央棟 交流室

○出席者

委員：（委員長）中嶋治樹、（副委員長）油井信隆、由井秀樹、渡邊亜子、篠原謙一、内藤時江、柳沢周子、神子澤公生、土屋茂子、原弘子

事務局：由井康奈、宮田雅和、藤原将武、井出珠美、由井千富美

村理事者：村長由井明彦

オブザーバー：長野県住宅供給公社 専門幹想田修、課長代理石川晃

○欠席者

委員：赤堀公子

1. 開会

2. 委嘱書交付

- ・川上村民生児童委員協議会長の交代に伴う交付。
- ・新たに民生児童委員協議会長になられた油井信隆さんに副委員長をお願いする。

3. 委員長あいさつ

- ・川上村認知症対応型通所介護施設建設基本計画（案）の主な想定施設の協議について 等

4. 村長あいさつ

- ・施設建設を進める。
- ・会議や視察を重ね、利便性の高い施設とする。 等

5. 議事

(1)川上村認知症対応型通所介護施設建設基本計画（案）について

事務局藤原将武：資料1、資料1-1に基づき説明。

- ・川上村認知症対応型通所介護施設建設基本計画（案）（資料1）
- ・建設場所について（資料1-1）

○質疑応答

委員：宅老所とデイサービスの違いは何か。宅老所は家にいるような家庭的な雰囲気を持つことを考えて造ることが重要です。そのため、見学した塩尻市の施設は、アットホームで家庭的な環境がなかったように感じました。また、お風呂も特浴がありました。どういった施設を

造りたいのか皆さんの意見を伺って、アットホームで家庭的な雰囲気を持つ施設を見学した方がよいと思います。

委員：宅老所では利用者とのコミュニケーションにおいて、意識していることや取り組んでいる内容について教えてください。

委員：現在、食事はデイサービスから運んでいます。おやつや漬物などは利用者と一緒に作ったり、台所で洗い物をしたりしています。

委員：塩尻市は厨房が見えにくく、何を作っているか分からなかった。一緒に料理する方は、料理をしたり、一緒に作ることを楽しみにしているように見えます。

委員：母も宅老所を週3回利用していて、朝から自分で準備して出掛けて行きます。家では台所の手伝いを危ないからさせないこともあり、台所での手伝いを楽しみにしているようです。今回視察した塩尻市の施設のような独立した厨房でなく、利用者も料理や洗濯などに関われるような施設設計をしてほしいと思います。

委員：塩尻市は和室がありませんでした。現在の宅老所は椅子を使用していますが、それ以前はこたつを利用しており、こたつにあたり横になれる部屋が欲しいです。また、台所については、利用者さんが職員と一緒に調理できる空間が望ましく、利用者の身体状況に配慮し、台所の高さも作業しやすい高さなどに検討してもらえたらと思います。

委員：基本的な機能は整備されていますが、将来を見据え、後から「この施設にしてよかった」と感じられるような施設整備を期待します。また、今後のニーズの変化にも柔軟に対応できるよう、小規模多機能型施設への移行も想定した設計として欲しいです。塩尻市は地域交流があったが、そういう想定はありますか。

事務局藤原将武：地域交流については、施設内というよりは、デッキスペースの活用を想定しています。

委員：施設計画にあたっては、利用者同士の交流だけでなく、スタッフ側の視点も重要であると考えます。物置の配置や日常業務を踏まえた動線も大事かと思います。また、におい・音・光など環境に考慮し、それぞれが混ざり合っただけで不愉快を生じないような施設になればと思います。専門家による設計であっても、実際に現場で働くスタッフの動きや使い勝手を踏まえ、スタッフの意見を十分に反映させることが大事かと思います。

事務局藤原将武：施設計画にあたっては、現場の意見を聞く場を設けたいと思います。

委員：宅老所の利用者と一緒に料理を行うためのキッチンを設置していただけたらと思います。

(2) 次回視察研修について

事務局藤原将武：資料2に基づき説明。

- ・視察研修について（資料2）

○質疑応答

委員：泰阜村の悠々（ゆうゆう）の視察に参加しました。共生ホーム、建物の配置に加え、一般家庭に近い施設で、職員の動きやすさの観点からも参考になると思います。

委員：今後どのような宅老所を整備していくかにもよりますが、みまき福祉会は当村のヘルシー

パークと共通点が多いことから、泰阜村の視察を踏まえ、付加機能の面についてみまき福祉会を参考にしながら検討を進めたらどうでしょうか。

委員：どんな宅老所の施設にするかは悠々（ゆうゆう）を視察し、複合的な付加機能の面についてはみまき福祉会を視察したらどうでしょうか。

⇒次回の視察は、泰阜村社協の悠々（ゆうゆう）となる。

事務局藤原将武：オブザーバーの長野県住宅供給公社の紹介

長野県住宅供給公社：検討にあたっては、必ずしも3月末に結論を出すことにこだわらず、4月から5月頃にかけて時間をかけながらも、将来に向けてぶれない共通認識（コンセンサス）を計画していくことが重要と考えます。

施設整備においては、根幹となる考え方を十分に共有しておけば、完成後に「想定と違った」と感じる事態が生じることもありますので、基本的な方向性などを集約していけたらと思います。

また、高齢者にとって和室は魅力的を感じますが、膝に不安がある方やオムツを使用している方への配慮も欠かせません。

介護を主とする施設とするのか、支援を重視する施設とするのか、どのような宅老所を目指すのかについて、関係者の皆さんと検討を進めていけたらと思います。

6. その他

事務局藤原将武

- ・第3回川上村高齢者等施設建設委員会の日程について
- ・その他、年度内の会議の予定など

7. 閉会